

「働くこと」を考える

専任講師 久保隆光

1. 研究内容

働かなければ生きていけないこの世の中で、「働くこと」にかかわる諸問題について議論していきます。いま問われているのは、バブル経済崩壊後、新たな働き方を見出せないところにあります。これほど多くの女性や非正規労働者が雇用されているにも関わらず、「男性一人手稼ぎモデル」や正規労働を中心に旧態依然とした社会制度が温存されたままになっています。その一方で、ワーク・ライフ・バランスに代表されるように多様な働き方が求められています。このさき、私たちはどのようにして働いていくべきなのか？これからの働き方について考えていきます。

2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期は、基礎的な知識の習得を目指してグループ及び個人研究を行います。

秋学期は、基本的な全体学習に加えて、グループ及び個人研究を行います。

合宿は行いません。

《3年次》

春学期は、具体的なテーマを対象とし、グループ及び個人研究を行う予定です。

秋学期は、具体的なテーマを対象とし、グループ及び個人研究、そして企業調査も行う予定です。

合宿は夏期休暇中に実施する予定です。論文投稿もしくはプレゼン大会に参加を予定しています。

《4年次》

春学期は、卒業論文の作成と指導を行います。

秋学期は、卒業論文の作成と指導を行います。

合宿は行いません。

※各学年の人数、また受講生の問題関心等によってゼミの進め方に変更が生じる可能性もあります。

3. 教材

濱口桂一郎『若者と労働』中公新書ラクレ、2013年。

平野光俊・江夏幾多郎『人事管理』有斐閣ストゥディア、2018年。

4. 成績評価の方法

課題への取組み姿勢、成果報告、ゼミ共同研究活動への参加状況等、総合的に判断します。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

このゼミでは、労働、社会政策、経営学などの領域について研究していきます。それに加え、知識のインプットに終始せず、知識のアウトプットつまり学んだことをどのように活かし、実践するのか、その方法を各自で確立することも目指していきます。自ら問いを立て、その問題解決のための方法を自分で習得して欲しいと考えています。社会で求められているこの能力を、専門領域の研究を通じて、自ら掴み取ってください。そのために、卒業時には、各自が学問的な問題関心に沿って研究テーマを見つけ、3年間の研究活動の総括として、全員に卒業論文を提出してもらいます。

そして最後に。ネットで答えを「探す」のではなく、自分で答えを「創る」ことにトライするみんなの来室を期待しています。みんなの答えを、私に教えてください。待ってるよ！！